



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.17 地域連携病院⑬「小松島病院」

今回は、患者さんの早期退院・早期社会復帰を目指す、小松島病院を紹介します。

■ 徳島大学病院と連携を強め、 安心できる医療を提供

小松島病院は、患者さんが一日も早く在宅復帰できるよう、職員一丸となり質の高い医療を提供しています。徳島大学病院とは、整形外科・内科を中心に医師の派遣や急性期を終えた患者さんの受入れ等の連携を密に取っており、徳島大学病院の医師が一般外来やスポーツ外来で診療するほか、内視鏡検査や遠隔画像診断も行っていきます。また、徳島大学病院からの紹介の入院患者さんはリハビリテーション目的で年間40名程度あり、紹介後も回診を行うことで患者さんも安心して治療に専念することができているそうです。

■ 365日体制のリハビリテーション

小松島病院は回復期リハビリテーション病棟と総合リハビリテーション施設を揃え、連携の取れたチーム医療により早期退院・早期社会復帰を目指しています。回復期リハビリテーション病棟は、新入院患者を年間約600名受け入れており、平均在院日数約50日、在宅復帰率約90%となっています。

ます。在宅復帰率が全国平均(約70%)に比べ、高い理由は、一日2~3時間の個別リハビリテーションとともに、365日のリハビリテーション体制を取り、起床から就寝までの一貫したADL(日常生活動作)自立に向けたケアを行っているからです。また、退院前には在宅調査により生活環境を整えるだけでなく、退院後には総合リハビリテーション施設にて、外来・訪問・通所リハビリテーションを実施し、患者さんが不自由なく日常生活ができるようにさまざまなサポートをされています。

■ 患者さんを待たせない、早期に治療を

小松島病院は、このような質の高いリハビリテーションを実施するとともに急性期病院からの早期受入れを目指し、できるだけ早く治療を開始できるように日々努めているそうです。最後に、「在宅ケアに向けてさらにリハビリテーションの実力を上げ、受入患者数を増加していきたい。そして患者さんを待たせない、素早い対応で治療を実施できる病院にしていきたい」と今後の意気込みを語ってくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■ 問い合わせ
医療法人 道志社
小松島病院
小松島市田浦町字近里83-11
Tel.0885-33-2288

■ 説明は、左上から
・阿部 好志(あべ よしゆき) / 事務部長
・東田 武志(ひがした たけし) / リハビリテーション部長
・中西 昭子(なかにし あきこ) / 看護部長
・福本 常雄(ふくもと つねお) / 院長
・正木 真澄(まさき まさみ) / 病棟科長